

この度の新型コロナウイルス COVID-19 の感染蔓延による緊急事態宣言、現地校休校措置で、トロント補習授業校も令和 2 年度開校ができない状況にあり、児童生徒、保護者、関係各位におかれましては、ご懸念のことが多いことと察します。まだまだ先が見えない状況ではありますが、運営委員会として状況説明と今後の計画などについてご説明いたします。

1. 派遣教員

4 月発令にて、川村武弘校長先生が着任される予定です。川村校長先生は、この 3 月まで三重県の小学校で校長先生をされておられた方で、これまでにエジプト、スペインの学校を経験され、国内、海外の教育について大変深い知識と経験をお持ちです。こうした現状下、着任される予定がたっておりませんが既にメール等で連絡を取り、適格な指示指導をいただいております。

2. 現状

現地学校年度に沿った他の日本語学校、継承語学校と違い、トロント補習授業校は、日本の学校年度(4 月~翌年 3 月)に合わせた運営をしております。今回の休校命令の時期がちょうど年度替わりに当たったことから、新年度クラス編成と入校生の手続き、教員雇用契約と教員配置、それに必要な引継ぎが完了できておりません。小学部においては新指導要領の導入があり新版教科書が支給される予定ですが、その指導要領の教材研究もできない状況です。

3. 教科書について

一部の保護者の方からは、開校までの間、自宅学習するために教科書だけでも支給できないかとの問い合わせをいただいております。新年度教科書については、著作権者等より了承が得られた場合、休校期間中の学習予定部分の教科書ページを PDF 化し、メール等にて直接配信することを検討しています。併せて、最低限の教科書のみ、郵送などにてお手元に届くよう準備を進める計画です。

4. 今後の授業指導について

現在の見通しでは、現地校再開も早くても 6 月の再開となっており、現地校ではオンライン授業などを試行していることはご周知のとおりです。しかし、補習校では、クラス編成、教員配置などが定まらず、また現地採用教員の自宅設備・通信環境の問題があり、高等部では一部試行を行うものの、全校一斉のオンライン授業は難しいと考えております。代えて、ワークシートや課題の提供や、多くのオンラインポータルサイトの中から教員が厳選した適当と思われるサイトを補習校ホームページ等でご紹介していきます。

開校日についてはまったく見通せない状況で、令和二年度においては、年間 40 日の開校日を確保することができないと想定しています。よって、授業時間確保を最優先に考え、運動会、発表会等の行事は取りやめることにいたします。

以上、大変厳しい状況ですが、なにとぞご理解のほどお願い申し上げます。